

格子柵ブロック



盛土には格子柵ブロック

長さ1mの棒状ブロックを組み合わせる耐久性に優れたプレキャスト柵工です。
格子柵ブロックの格点は噛み合わせが無くフレキシブルな対応が可能です。

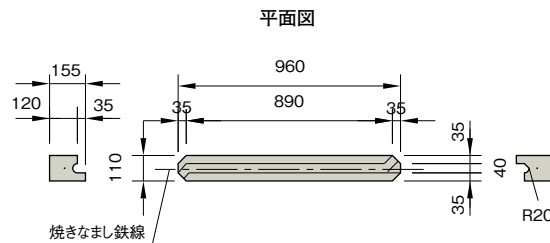
格子枠の特長

- 1 格点の組合わせを噛み合わせにしている(ブロック本体より突出している鉄線での相互連結)為、背面土の自然沈下・移動変形にもフレキシブル(柔軟)な対応が出来ます。
- 2 ブロック本体には水切りを設けている(左・右用)為、表面水を速やかに排水出来ます。
- 3 組み立て後は1m角(1枠1m²)に仕上げられ、外周用にストラットブロックを使用する事でシンプルな出来型を形成します。
- 4 枠内の平坦部まで埋戻しを行うので、法表面にはブロック凸部のみが表れる事になり、従来工法と比較してもコンクリート露出面が少なく、済みます。したがって周辺の景観にもなじみ易く、枠内に植生を行えばより一層、自然法面に近づけます。

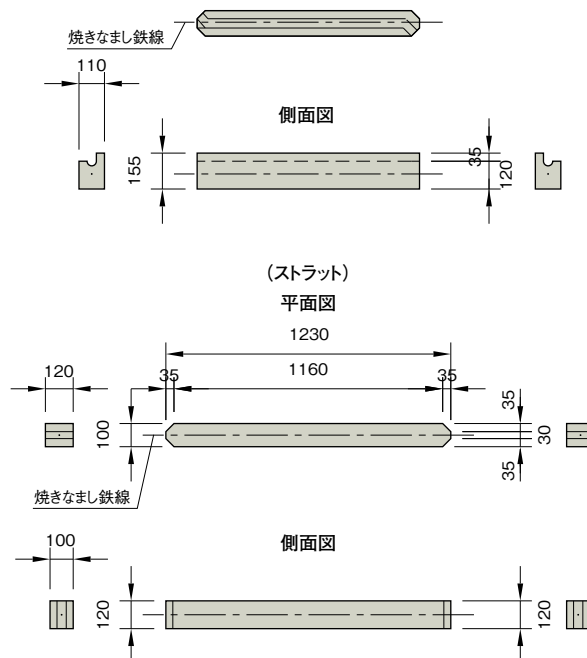
寸法図

(単位:mm)

A型



B型

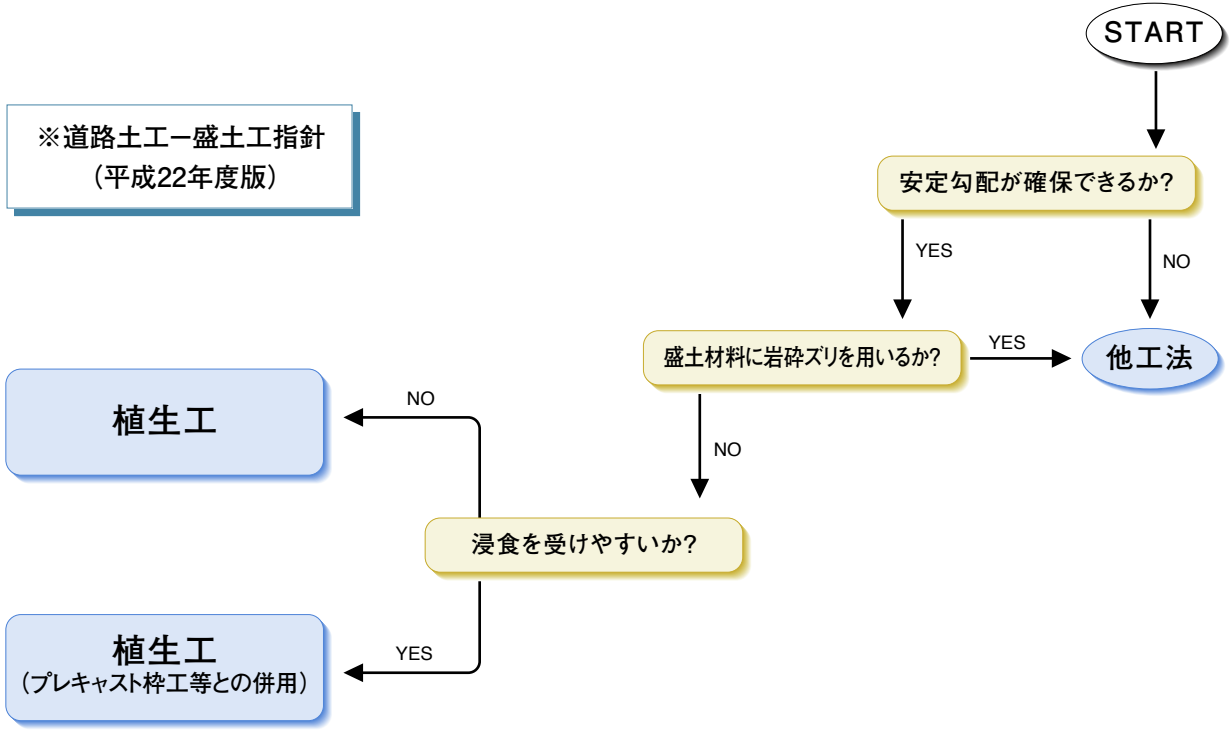


名称		形状寸法(mm)	参考重量(kg)	摘要
格子枠ブロック	A型、B型	110×155×960	31	A型、B型は左右を示す
ストラットブロック		100×120×1230	35	周辺枠用

格子枠の適用範囲

1 特徴でもあるフレキシブルな格点の為、背面土が自然沈下をする様な場合(盛土)には最適です。

2 盛土法面における法面保護工(プレキャスト枠工)の選定フロー



3 盛土に対するプレキャスト枠工の標準法面勾配

盛土材料	盛土高	勾配
粒度の良い砂、礫および細粒分混じり礫	5m以下	1:1.5~1:1.8
	5~15m	1:1.8~1:2.0
粒度の悪い砂	10m以下	1:1.8~1:2.0
岩塊(ずりを含む)	10m以下	1:1.5~1:1.8
	10~20m	1:1.8~1:2.0
砂質土、硬い粘質土、硬い粘土(洪積層の硬い粘質土、粘土、関東ロームなど)	5m以下	1:1.5~1:1.8
	5~10m	1:1.8~1:2.0
火山灰質粘性土	5m以下	1:1.8~1:2.0

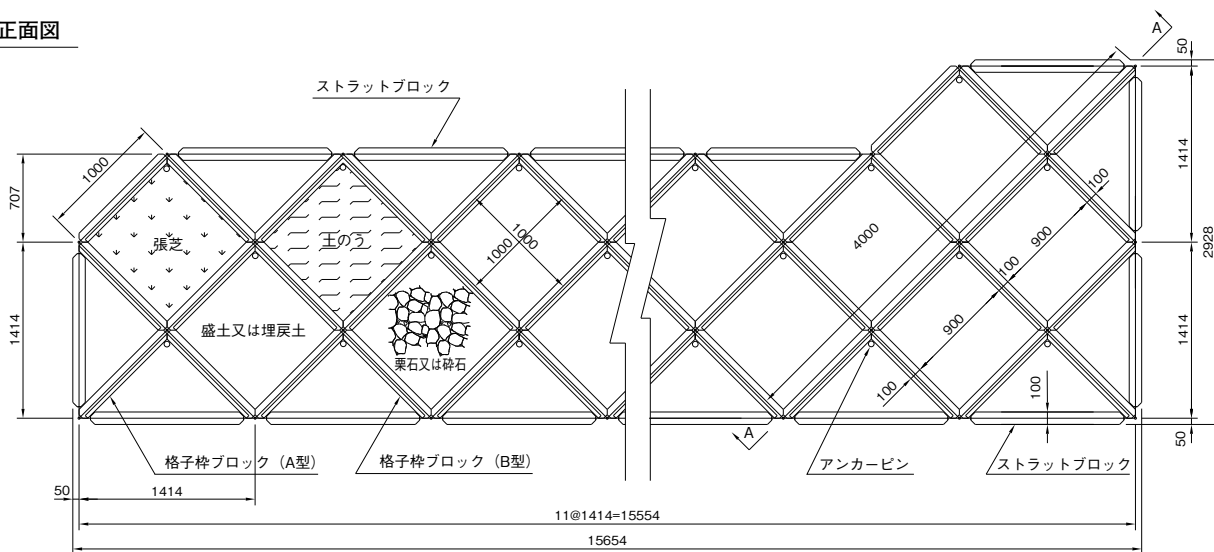
※上表は“道路土工-盛土工指針(平成22年度版)”を参照したのですが使用については同上の注意事項、摘要をご確認下さい。
尚、表中の各値(盛土高・勾配)の最低値及び下限値 以下でも使用可能です。

4 枠の交点部分には、すべり止めピン(L=50~100cm程度)を使用して下さい

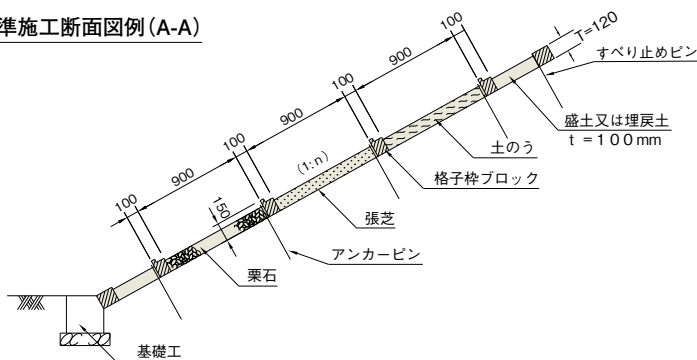
※上記は“道路土工-盛土工指針(平成22年度版)”によるものですが、鉄筋径・長さは関係各機関仕様によって異なりますので、使用の際には各仕様書等を御確認下さい。

格子枠 参考歩掛

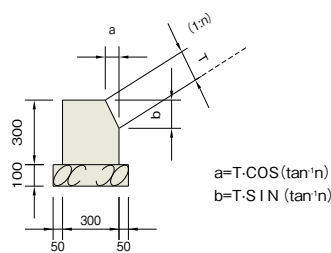
正面図



標準施工断面図例 (A-A)



基礎工詳細図例



※上記の図は参考例ですので関係機関の仕様をご確認下さい。

上正面図35.80㎡当たり

名称		単位	数量	摘要	
格子枠 ブロック	A 型	個	35.00	T=120mm	
	B 型	〃	34.00		
	ストラット	〃	24.00		
据付工 ※注(1) アンカーピン ※注(4)	世話役	人	1.00	0.028人/㎡	1日当たり 36㎡据付
	ブロック工	〃	1.00	0.028人/㎡	
	普通作業員	〃	2.97	0.083人/㎡	
	ラフテレーンクレーン(25t吊)※注(2)	日	1.00	0.028人/㎡	
	諸雑費 ※注(3)	式	1.00		
中詰工 ※注(5)	客土 (t=100mm)	㎥	3.03	26.08㎡×0.10m(設計量2.61㎥)×補正量1.16	
	植生土のう(400×600)	袋	156.48	26.08㎡×6袋/㎡	
	割石・栗石 (t=100mm)	㎥	3.13	26.08㎡×0.10m(設計量2.61㎥)×補正量1.20	
	碎石 (t=100mm)	㎥	3.13	26.08㎡×0.10m(設計量2.61㎥)×補正量1.20	

中詰純面積=22.00枠×0.810㎡/枠+24.00枠×0.344㎡/枠=26.08㎡

敷砂利・吸出防止材が必要な場合及び掘削・埋戻・基礎工・天端工は別途計上して下さい

※注(1) 据付工は法枠設置(中詰工を除く)、間詰モルタルおよびアンカーピンの施工量でありその施工量は中詰面積を含めた数量で、25m程度の小運搬を含みます。

※注(2) ラフテレーンクレーンは現場条件に合わせて選んで下さい。

※注(3) 諸雑費は間詰モルタル、アンカー材料費・設置労務費であり、ブロック据付労務費およびラフテレーンクレーン運転経費の合計額に18%を乗じた金額を上限として計上して下さい。

※注(4) すべり止めピンの設置は打込み式で、径・長さは関係各機関の仕様に従って下さい。

※注(5) 各中詰工は現場条件に応じて選んで下さい(組み合わせも可能です)。